

アルファベット・数字・略語

AI (Artificial Intelligence)

人工知能。

BOD (Biochemical oxygen demand)

生物化学的酸素要求量。河川などの水の有機的な汚れの度合いを示す数値で、水中の有機物を微生物が摂取しエネルギーに変える時に消費される酸素の量。数値が大きいほど水中の有機的な汚れが多いことを示す。

CLT (Cross Laminated Timber)

回転する鋸(のこ)刃で切り出したひき板の繊維方向が、層ごとに直交するように接着したパネル。新しい木質構造用材料として日本で普及し、国産材の需要拡大が期待される。

COD (Chemical Oxygen Demand)

化学的酸素要求量。湖沼などの水の有機的な汚れの度合いを示す数値で、水中の有機物を薬品(酸化剤)で分解した時に消費する薬品中の酸素の量。数値が大きいほど水中の有機的な汚れが多いことを示す。

COD (BOD) 75%値

湖沼や河川等の水質が環境基準に適合しているかを判断するための数値。年

間を通した複数の測定値について、全体を100%として低い方から数えて75%目に当たる測定値(例:4回測定した場合、低い方から3番目の測定値が75%値)のことをいい、全測定値の中間である平均値よりも厳しい判断基準になる。

DV (Domestic Violence)・ドメスティック・バイオレンス

家庭内(恋人間)の親密な関係における身体的・精神的・社会的・性的・経済的暴力のこと。

ICT (Information and Communication Technology)

情報通信技術。情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称。

IoT (Internet of Things)

モノのインターネット。ワイヤレスコンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

TPP (Trans-Pacific Partnership) 協定

環太平洋パートナーシップの略。オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、

マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの計12か国間による包括的な経済連携協定。

3R

①リデュース：発生抑制（使いきり、食べきりなどそもそもごみが発生しない行動。）、②リユース：再使用（リサイクルショップや市のリサイクルコーナーの利用など一度使わなくなった物を再度使用する。）、③リサイクル：再生利用（分別により古紙やプラスチックなど資源として再生して利用する。）により、ごみの排出量を減らす取組の総称。

ア行

アナリティクス人材 (データサイエンティスト)

データ（コンピュータ上で扱う情報のかたまり）を分析・解析を通して、データを価値に結びつける人材で、ビッグデータから事業や政策に関する知見を引き出す専門家。アナリティクス人材は、データサイエンティスト（Data Scientist）とも言われるが、ここではアナリティクスに統一して記載（例：アナリティクス人材、アナリティクス産業など）。

インバウンド(Inbound)

外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

カ行

合理的配慮

障がいのある人が、障がいのない人と平等に基本的人権を享受することができるよう、周囲の人々が一人ひとりの障がいの特性を考えて、障がいのあることで生じる不利益を解消するための適切な対応や調整を過重な負担がかからない範囲で行うこと。

固定価格買取制度

再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度で、電力会社の買取費用を電気利用者から賦課金として集め再生可能エネルギー導入を支援するもの。

固定的な性別役割分担意識

「男は仕事・女は家庭」というように、性別を理由として役割を固定的に分ける考え方のこと。

コンベンション(Convention)

国際団体、学会、協会などが主催する総会、学術会議やスポーツ大会などのこと。コンベンションが開催されることによって、交流人口の増加や地域経済の活性化、開催地の知名度向上が期待できる。

サ行

サイバーセキュリティ

コンピュータを狙った攻撃を防いだり、攻撃を受けてしまった場合に対処するための技術や施策。

実質公債費比率

市債の元利償還金及びそれに準ずるものの標準財政規模に対する比率。比率が高くなるほど、市債等の返済の負担が大きいと判断される。

シビックテック

シビック(Civic、市民の・みんなの)とテック(Tech、テクノロジー)を合わせた言葉であり、「テクノロジーを活用しながら、みんなで自分たちの周囲の問題を解決していこう」という考え方や取組。

タ行

多面的機能

農業・農村が有する、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の機能のこと。

データサイエンティスト

→「アナリティクス人材」を参照。

デジタルサイネージ

液晶ディスプレイなどに映像を表示する装置で、看板やポスターなどを電子化したもの。音声や映像を流すことが可能で、また、時間帯によって表示内容を変化

させたり、災害時に避難所や救援の情報を表示するなど、設置場所の状況に応じた情報配信が可能。

特定空家等

空家等対策の推進に関する特別措置法第2条第2項に規定する①そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態、②著しく衛生上有害となるおそれのある状態、③適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、④その他周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態、にあると認められる空家等をいう。

都市型・生活型公害

自動車や近隣住民の騒音、生活雑排水による河川の汚濁、地下水の汲み上げによる地盤沈下など、まちの都市化や生活スタイルの変化によって引き起こされる公害のこと。

ナ行

農地中間管理事業

都道府県ごとに指定された農地中間管理機構が農地の中間的受け皿となり、貸し借りを仲介する制度。

ハ行

標準財政規模

合理的かつ妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模。全国一律の方法により算出される。

V案内所

外国人観光客に外国語で観光案内できる案内所。日本政府観光局（JNTO）が認定要件に基づき認定しており、本市では、会津若松駅観光案内所と鶴ヶ城観光案内所が認定を受けている。

フィルムコミッション

映画やテレビなどのロケの撮影を円滑に進めるために、ロケ地の案内や誘導、撮影の様々な支援を行う組織のこと。本市では、平成14年に会津若松フィルムコミッションを設立して事業を推進している。

ベンチャー

革新的なアイデア・技術等をもとに、新しい形態のサービスやビジネス（ベンチャービジネス）を展開する中・小規模の企業。

マ行

木質バイオマス発電所

Bio（生物資源） Mass（量）を表し、チップ化した木材を燃料として発電する施設。

ヤ行

ユニバーサルデザイン

はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいように、建物、製品、サービスなどを計画、設計する考え方。市では、この「ユニバーサルデザイン」について、「バリアフリー」の取組とあわせて推進している。

ラ行

リテラシー

文章を読んで理解し、また書き出して伝える能力。転じて「情報リテラシー」とは、インターネット等を通じて自分が必要としている情報を的確に探し出し、また、自ら情報を正しく発信する能力。